

平成 20 年度機構改革・人事異動にあたって

質の高い市民サービスを効率的に提供できる市役所に変えるべく、大幅な機構改革を実施するとともに、団塊世代などの大量退職（定年 4 名、勲奨 21 名、自己都合等 6 名）を受けて、4 月 1 日付けで人事異動を行いました。

本年度の加西市政の二大テーマである環境・CO₂削減、教育・子育て施策の実現のための布陣を敷くとともに、改革マニフェストの実現のために、ソフト部門・企画部門を充実しました。

そして、未来志向で取り組もうという思いから「子ども未来課」、環境は創造するものという考えから「環境創造課」、ごみ分別と再資源化を進めるために「資源リサイクル課」を設けました。さらに、加西の食材や地域資源を生かすために「ふるさと営業課」を新設しました。

また、「経営戦略室」と「ふるさと営業課」では、個々の係をおかない事で、縦割り行政の垣根を越えたマルチ職員、機動的に動けるフリーランス職員を養成していきます。

これからの自治体経営は、今までの行政経験だけでは通

用しません。積極的に学び、新しいアクションを起こせる人材を育てることが大事です。そのため、従来の年功序列ではなく、能力本位で若手を登用しました。管理職に加え、一般職員に対しても成果主義人事を適用していきます。

従前の職場でそれなりに実績を上げていた職員についても、これまでの経験と蓄積の上に新たなステージで、より広い視野に立って市民本位で活躍してもらうため、積極的な配置転換を行いました。

現在、市役所や病院や保育園などに 1,080 人の職員（臨時職員等含む）が働いており、平成 14 年、86 名の管理職で組織を束ねていましたが、今年は、60 名の管理職で市役所全体を運営していきます。

市役所職員の意識改革を進め、納税者の立場、市民の目線でものごとを考え、行動できる人材として教育していきますので、市民の皆様のご理解ご協力を心からお願い申し上げます。（市長）

フロア構成

本庁舎

（緑字は新設、または業務内容に変更があった部署です。）

6F	情報政策課、 市民交流課 、学校教育課、市史・文化財室、教育総務課
5F	施設管理課、 土木課 、都市計画課
4F	人権推進課、農業委員会、選挙・監査・公平委員会、 ふるさと営業課 、 農政課 、 地域産業課
3F	総務課、 市民参画課 、経営戦略室、秘書課
2F	長寿介護課、地域包括支援センター、上下水道お客様センター、 財政課 、税務課、収納課
1F	市民課、国保健康課（国保医療係、健康係）、会計室、 子ども未来課 、社会福祉課

附属棟

業務管理課
上下水道課
環境創造課

クリーンセンター

資源リサイクル課

新しい課名と主な仕事内容

●子ども未来課（1階）

幼児教育・保育一元化の先進都市・加西市が、これを一層進め、0 から 5 歳児の育ちをトータルに支えるため、『子ども未来課』を置きました。保育所、幼稚園、幼児園、児童福祉関係の業務を一体的に進めます。

●ふるさと営業課（4階）

優れた歴史文化や豊かな自然環境など、加西の素晴らしい地域資源を生かして、観光宣伝、食材の売り込み、特産品の開発などに取り組み、全国に誇れる魅力あるまち“加西”を発信していきます。

●市民交流課（6階）

生涯学習課が「市民交流課」に変わりました。市民主体の心豊かな地域づくりを推進するため、単なる個人の学習機会にとどまることなく、市民が集い、学び、ボランティア、NPO、文化・文芸、スポーツを通じて交流できる、そのセンターとして衣替えします。

●資源リサイクル課（クリーンセンター内）

旧環境課を、資源リサイクル課と環境創造課、バイオマス（担当）に改組しました。資源リサイクル課は、クリーンセンター内に異動し、ごみ対策と施設の充実を担当します。有料指定ごみ袋制の導入により、ごみの減量、並びに不法投棄、野焼き、ごみの分別等も担当します。

市役所の人事異動

主幹級以上の異動者を紹介します。

（敬称略）

《部長級》

経営戦略室長兼少子化対策担当 玉置博充

総務部長 河原史明

市民福祉部長 田中千雄

市参事兼市民福祉部福祉事務所長兼社会福祉課長 笈瀬津男

地域振興部長 柏原邦章

都市開発部長 平井住夫

生活環境部長 前田秀典

《次長級》

生活環境部次長（環境担当）植田通孝

教育次長兼主任指導主事 小林幸彦

《課長級》

経営戦略室秘書課長 前田政則

総務部市民参画課長兼市民相談係長

西村芳美

市民福祉部市民課長 岡田盛英

市民福祉部国保健康課長 西村和平

市民福祉部長寿介護課長兼地域包括支援センター所長 森川尚登

市民福祉部人権推進課長兼企画調整係長

原田正利

地域振興部地域産業課長兼管理係長

山本重幸

地域振興部ふるさと営業課長 西脇親

地域振興部農政課長兼農業委員会事務局

局長 小篠正彦

都市開発部施設管理課長 木下義視

都市開発部土木課長 東一正典

都市開発部都市計画課長 大古瀬隆

生活環境部業務管理課長 植田俊弘

生活環境部上下水道課長 伊藤清明

生活環境部環境創造課長兼環境管理係

長兼斎場長 鈴木康良

生活環境部環境創造課パブリック担当課長

長浜秀郎

生活環境部資源リサイクル課長兼ク

リーンセンター所長 谷口義博

生活環境部衛生センター所長 井上雅仁

会計管理者兼会計室長兼検査官

能瀬裕光

消防本部予防課長 藤原光浩

教育委員会教育総務課長兼学校給食セ

ンター所長 深田秀一

教育委員会子ども未来課長 本多耕太郎

教育委員会市民交流課長兼図書館長兼

芸術文化係長 能瀬長人

教育委員会青少年センター所長兼指導

主事 長田卓也

議会事務局長兼庶務係長 山本康博

選挙・監査・公平委員会事務局長兼

選挙係長 吉田清孝

市立加西病院病院経営推進室長 高橋晴彦

《主幹級》

財務部財政課主幹兼管財係長 井上利八

地域振興部農政課主幹（農政担当）

大谷賢一

生活環境部資源リサイクル課主幹兼ごみ対策

係長 玉置清和

消防署警防課主幹 山西修

消防署警防課主幹 為広高志

教育委員会北条西保育所長 織田智恵子

教育委員会北条幼稚園長 和田陽子

幹部職員の公約



教育次長

小林 幸彦

教育は今、大きく変化しています。学習指導要領改訂の方向等を見据え、流れの行方を見誤ることなく、加西の教育発展のために取り組んでいきます。まず、学校教育においては、基礎・基本の確実な定着を図り、「生きる力」を育成します。社会教育の面では、公民館活動、図書館運営等のいっそうの工夫・充実を図ります。また、幼児教育の面では、九会幼児園、ミニ幼児園など、平成 21 年度を目途に幼児園構想のいっそうの具現化を図ります。



財務部長

圓井 昭英

市財政は依然として厳しい状況にはありますが、財政再建の方向性や再建の具体策につきましては、財政再建推進計画（平成 15 年 10 月）策定や改革マニフェスト（平成 18 年策定）において体系的に纏めその実現に向けて取り組んでおり、後期計画（平成 20 年度～平成 24 年度）では、前期からの継続項目を合わせますと 64 件、5 年間合計で 29 億円の効果額を見込んでいます。

市民の皆様にも応分の負担やご協力をお願いし、事務事業の優先度・緊急度も考えながら「選択と集中」を進め、引き続き事務事業の見直しや業務の効率化を図ってまいります。



経営戦略室長

玉置 博充

「全国に誇れる魅力あるまちづくり」を目指し、平成 18 年度に市が直面する課題を 70 項目に取りまとめた改革マニフェストは、実施期間を 3 年間と定め、取り組んでいます。本年度が取組みの最終年度となっております。市民満足度の 30 項目と財政再建の 21 項目は、目標達成に努めます。加西のかたちの 19 項目中、短期での達成が難しい項目については、将来のあるべき方向性を示します。

また、脆弱な公共交通網の再編については、本年度に公共交通総合計画と交通網の再編を策定し、21 年度から実施します。



総務部長

河原 史明

財政再建推進計画に基づき、人員削減を図る中で、市民サービスの低下を招くことのないよう全職員一丸となってがんばってまいります。

アステアかさい内にある地域交流センターは、年末年始を除いて年中無休とし、中心市街地の活性化、市民活動団体の支援と市民サービスの向上を図ります。

男女共同参画社会の実現に向け気運を広く醸成するため、国との共催で男女共同参画宣言都市奨励事業を実施します。

公正な職員採用のあり方を構築するため、昨年度より第三者による職員採用あり方委員会を組織して検討しておりますが、本年度はその答申を取りまとめ、より公正で透明性の高い職員採用試験になるよう反映させてまいります。